

薬剤部からのお知らせ 2021 No.17



2021年4月6日発行

医薬品の院外採用について -2021年4月5日薬事委員会WG結果報告-

2021年4月16日開始薬品

医薬品名(成分名)	薬品分類
タクロリムス錠 1.5mg「トローワ」(タクロリムス)	免疫抑制剤
タクロリムス錠 2mg「トローワ」(タクロリムス)	免疫抑制剤
ツートラム錠 50mg(トラマドール塩酸塩)	慢性疼痛治療剤
ユリス錠 1mg(ドチヌラド)	高尿酸血症治療剤
プリピナ点眼液 0.5mg/mL(ナファゾリン硝酸塩)	局所血管収縮剤

院外処方薬品情報

使用上の注意の詳細については電子カルテのJUS D.I.を参照して下さい。

(タクロリムス水和物)

▶タクロリムス錠 1.5mg「トローワ」

〔後製〕

Tacrolimus 1.5mg/錠

〔東和〕

〔薬価〕455.8円/錠

▶タクロリムス錠 2mg「トローワ」

Tacrolimus 2mg/錠

〔薬価〕557.1円/錠

【効】①下記の臓器移植における拒絶反応の抑制：腎移植、肝移植、心移植、肺移植、膵移植、小腸移植
②骨髄移植における拒絶反応及び移植片対宿主病の抑制

③重症筋無力症

④関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合に限る)

⑤ループス腎炎

⑥難治性(ステロイド抵抗性、ステロイド依存性)の活動期潰瘍性大腸炎(中等症～重症に限る)

【用】(内) ①腎移植：移植2日前より1回0.15mg/kgを1日2回投与する。術後初期には1回0.15mg/kgを1日2回投与し、以後、徐々に減量する。維持量は1回0.06mg/kg、1日2回投与とする。

肝移植：初期には1回0.15mg/kgを1日2回投与する。以後、徐々に減量し、維持量は1日0.10mg/kgとする。

心移植：初期には1回0.03～0.15mg/kgを1日2回投

与する。拒絶反応発現後に投与を開始する場合には、1回0.075～0.15mg/kgを1日2回投与する。以後、徐々に減量して有効最小量で維持する。

肺移植：初期には1回0.05～0.15mg/kgを1日2回投与する。以後、徐々に減量して有効最小量で維持する。

膵移植、小腸移植：初期には1回0.15mg/kgを1日2回投与する。以後、徐々に減量して有効最小量で維持する。

②移植1日前より1回0.06mg/kgを1日2回投与する。移植初期には1回0.06mg/kgを1日2回投与し、以後、徐々に減量する。移植片対宿主病発現後に投与を開始する場合には、1回0.15mg/kgを1日2回投与する。

③3mgを1日1回夕食後に投与する。

④3mgを1日1回夕食後に投与する。高齢者には1.5mgを1日1回夕食後投与から開始し、1日1回3mgまで増量できる。

⑤3mgを1日1回夕食後に投与する。

⑥初期には1回0.025mg/kgを1日2回朝食後及び夕食後に投与する。以後2週間、目標血中トラフ濃度を10～15ng/mLとし投与量を調節する。投与開始後2週以降は、目標血中トラフ濃度を5～10ng/mLとし投与量を調節する。

(トラマドール塩酸塩)

▶ ツートラム錠 50mg

㊦

Twotram 50mg/錠

[日本臓器]

[薬価]61.2 円/錠

【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な下記における鎮痛：慢性疼痛

【用】(内) 100～300mg を 1 日 2 回に分けて投与する。
1 日 400mg を超えないこととする。

(ドチヌラド)

▶ ユリス錠 1mg

Urece 1mg/錠

[持田]

[薬価]54.8 円/錠

【効】痛風、高尿酸血症を伴う高血圧症

【用】(内) 1 日 0.5mg より開始し、1 日 1 回投与する。
維持量は 1 日 1 回 2mg で、最大投与量は 1 日 1 回 4mg とする。

(ナファゾリン硝酸塩)

▶ プリピナ点眼液 0.5mg/mL

Privina 0.5mg/mL

[日新製薬]

[薬価]5.3 円/mL

【効】表在性充血(原因療法と併用)

【用】(外) 1 回 1～2 滴を 1 日 2～3 回点眼する。